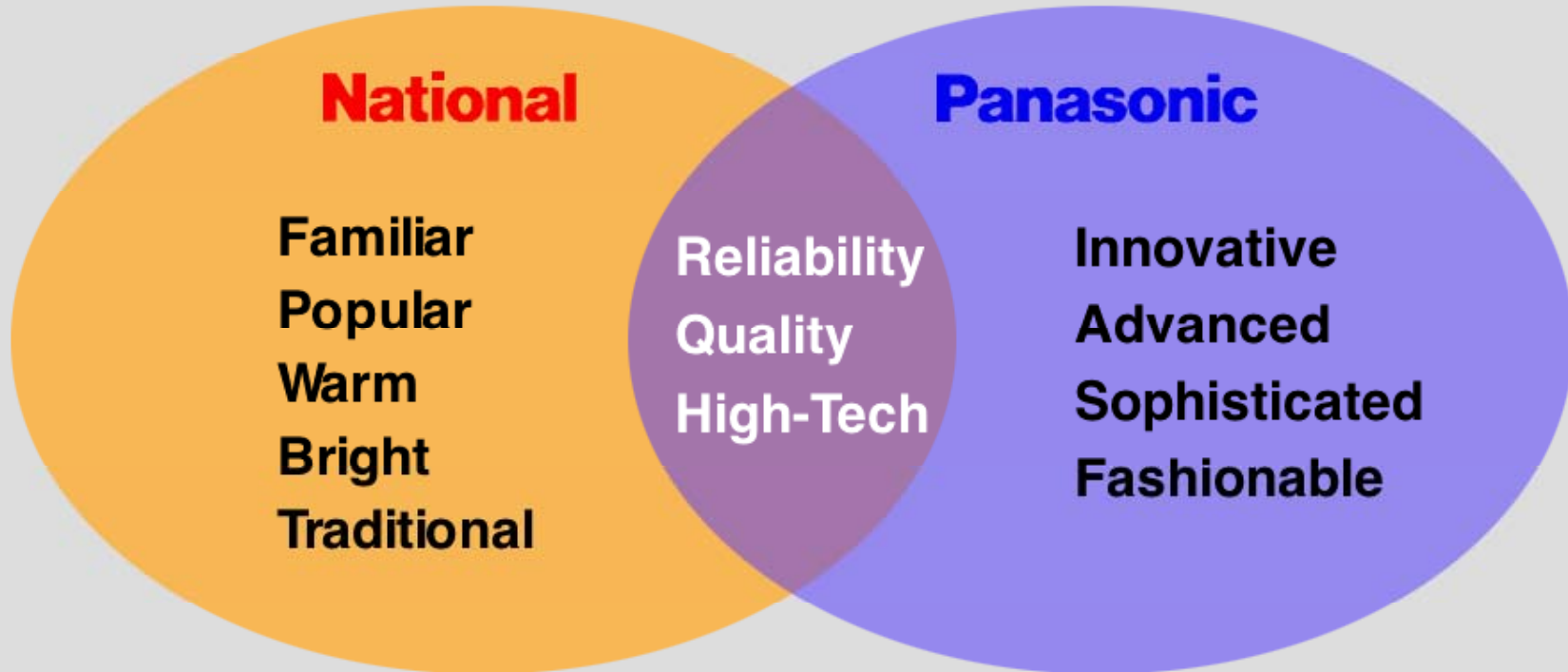


松下電器産業株式会社における
ユニバーサルデザインへの
取り組み

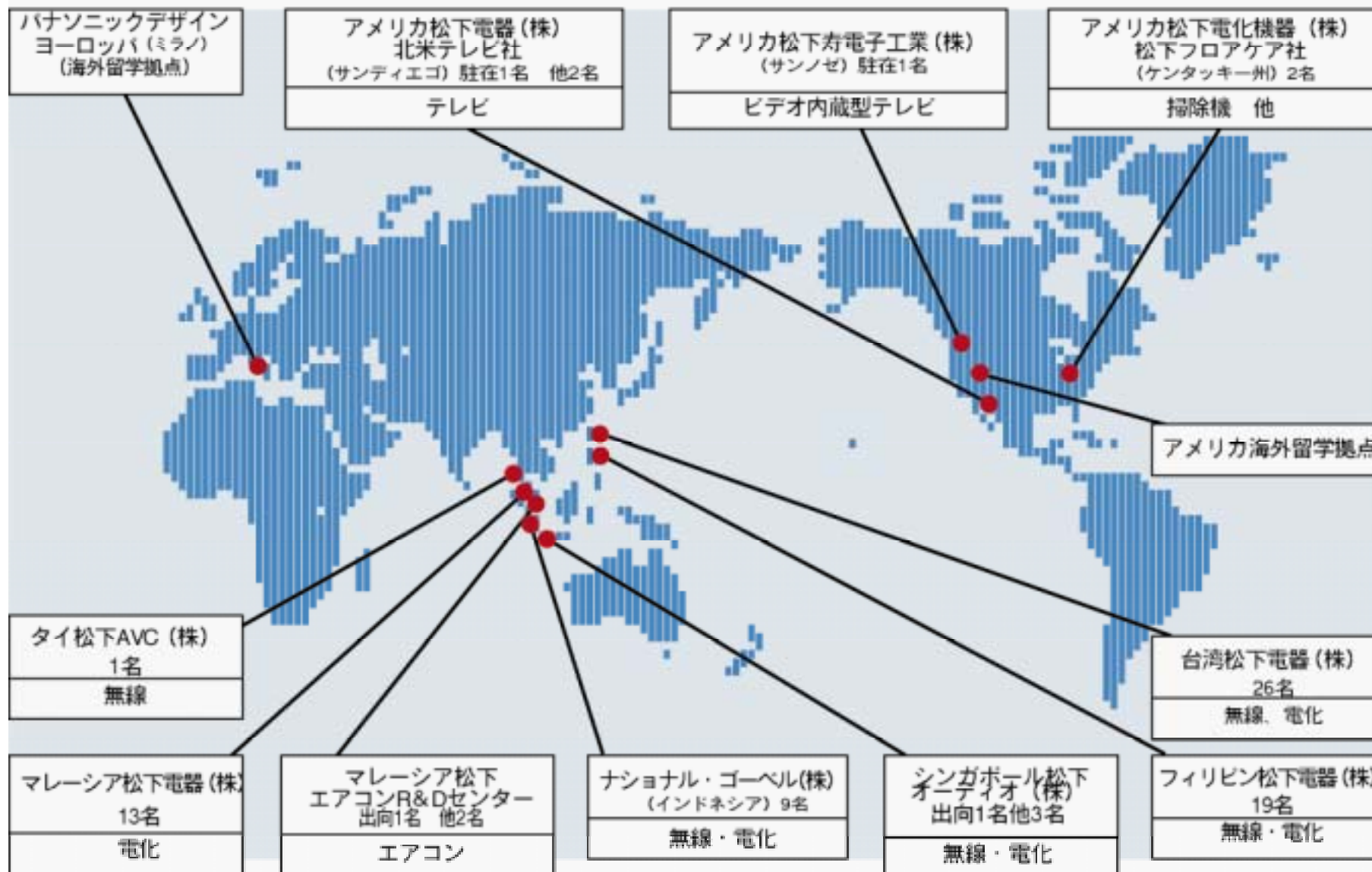
ブランドイメージキーワード



海外におけるデザイン活動

松下電器デザイン部門海外拠点 81名 (現地デザイナー76名)

2000.2.1



最近の国際動向

1. ISO 13407

2. 米国・連邦通信法255条

3. ISOにUDのワーキンググループ

ISO13407

1. コンピュータを取り込んだ製品のインタラクティブ・システム（人と装置が相互に作用する）の規格。
2. 設計のプロセスを文章化したものを認証する形式をとる。
3. 製品が規格に合致していない場合、市場参入できない。
EU域内は貿易面で特に影響は大きい。

米国・連邦通信法255条

1. 業務用及び民生用の通信・情報機器メーカーは非健常者が必要な機能を実現する技術が達成可能であれば、彼等が入手して使えるよう開発しなければならない。
2. その技術が達成不可能な場合、現存する周辺機器や使用者が使っている特殊機器を活用して同等の機能やサービスを提供できるようにしなければならない。

国内動向

1. 高齢者人口2000万人

2. 通産省が(財)共用品推進機構認可

3. ユニバーサルデザインフォーラム発足

4. ユニバーサルファッション協会発足


ユニバーサルデザインとは
すべての人が快適に利用できる
ように環境を設計、製品を開発、
サービスを提供すること。

ユニバーサルデザインの恩恵

1. 身体的機能低下の状態にある人達にとって
 - ・一般の人とともに快適に過ごすことができる。
 - ・商品選択の幅が広がり、好みのものを選んで、人間的な生活ができる。
 - ・自立した生活がしやすくなる。
2. 一般の人にとって
 - ・上記の人への、家族による介護の手間が少なくなる。
 - ・健常者にとっても一層使いやすくなる。

方針編

National/Panasonic




松下ユニバーサルデザイン
ガイドブック
Matsushita Universal Design Guide Book
〈方針編〉

松下電器グループデザイン部門

社外秘

手引編

National/Panasonic



松下ユニバーサルデザイン
ガイドブック
Matsushita Universal Design Guide Book
〈手引編〉

松下電器グループデザイン部門

社外秘

松下デザイン部門の取り組み姿勢

1. 社会の公器としての使命感を持って取り組む。
2. より多くのお客様に満足を提供し、役立ちの幅を拡げる。
3. 「本質追究のものづくり」のための基盤とする。

松下ユニバーサルデザイン方針

松下のユニバーサルデザインは、
あらゆる人々への心くばりを
美しく形象化することによって、
共に生き生きと快適にくらせる
生活の実現をめざす。

ユニバーサルデザインの基本スタンス(1)

対象者の範囲

ユニバーサルデザインの基本スタンス(2)

開発スタンス

ユニバーサルデザインの基本要項

1. 楽な姿勢と動作への配慮
2. 誰もが認識できる表示と表現
3. 簡単で理解しやすい使用方法
4. 安全・安心への心配り
5. 五感を駆使した新しい造形

手引編の主な内容(1)

発行の主旨

【A】楽な姿勢と動作への配慮(主に物理・運動特性)

A1. 操作に伴う動作のしやすさ
身体寸法 動作範囲との整合

A2. 取り扱いのしやすさ
把持、移動 扉・蓋の開閉 手入れ

A3. 操作部分の使いやすさ(電子的操作部)
操作部分の形状・配置、操作力、操作感、操作の方法

【B】誰もが認識できる表示と表現(主に感覚・知覚特性)

B1. 表示類のみやすさ
操作表示の視覚認知

B2. 触覚によるわかりやすさ
凸表示の触覚認知

B3. 報知音のわかりやすさ
報知音の聴覚認知

手引編の主な内容(2)

【C】 簡単で理解しやすい使用方法(主に認知特性)

- C1. 操作機能・操作手順のわかりやすさ
機能の明瞭性、操作要素の配置、簡単操作手順
- C2. 操作の方向表示のわかりやすさ
- C3. 用語・記号のわかりやすさ
簡単・明瞭性、用語の統一

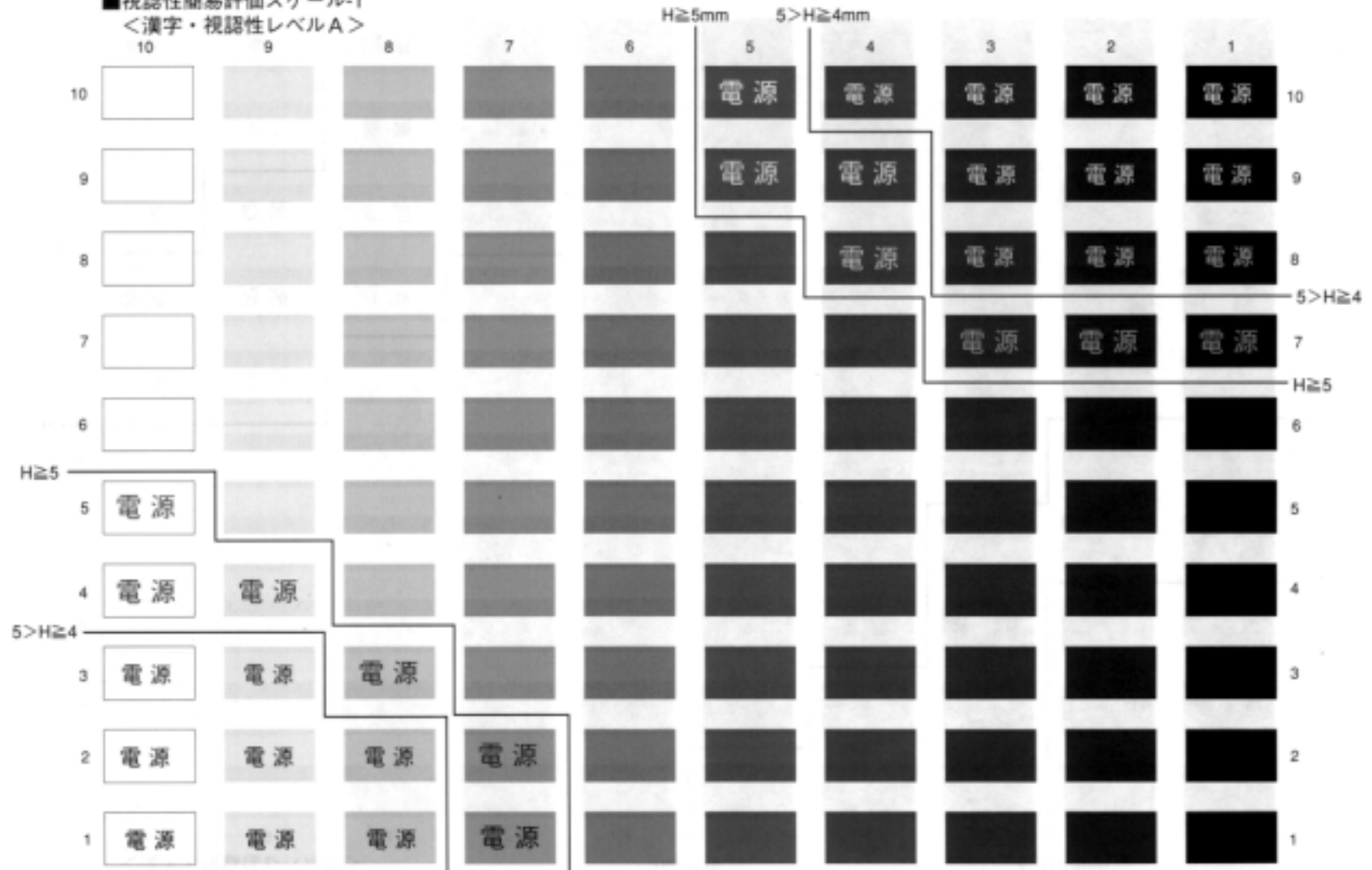
【D】 安全と安心への心配り

- D1. 誤動作への対処・防止
- D2. 安全・安心への配慮

身体的機能低下の状態にある人達の生活上の不便さ実態

参考文献

■視認性簡易評価スケール-1
 <漢字・視認性レベルA>



| | | 遵守すべき基準 | | | |
|-------|----------|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| | | 視認性レベル A | | 視認性レベル B | |
| 仮名・漢字 | 文字高さ | 5 mm以上 | 4mm以上 ～5mm未満 | 4mm以上 | 3mm以上 ～4mm未満 |
| | 明度コントラスト | 暗背景(ネガ) 4 以上 (文字反射率 35%以上) | 7 以上 (文字反射率 45%以上) | 4.5 以上 (文字反射率 30%以上) | 12 以上 |
| | | 明背景(ポジ) 4.5 以上 (背景反射率 35%以上) | 9.5 以上 (背景反射率 45%以上) | 4 以上 (背景反射率 35%以上) | 10 以上 (背景反射率 60%以上) |
| 英・数字 | 文字高さ | 3mm以上 | 2.5mm以上 ～3mm未満 | 2.5mm以上 | 2mm以上 ～2.5mm未満 |
| | 明度コントラスト | 暗背景(ネガ) 4.5 以上 (文字反射率 35%以上) | 9 以上 (文字反射率 45%以上) | 5 以上 (文字反射率 35%以上) | 12 以上 |
| | | 明背景(ポジ) 5.5 以上 (背景反射率 45%以上) | 11 以上 (背景反射率 60%以上) | 4.5 以上 (背景反射率 45%以上) | 10 以上 (背景反射率 45%以上) |

1. 凸点の寸法及びピッチ

(1) 寸法： 凸点の寸法は，図12による。

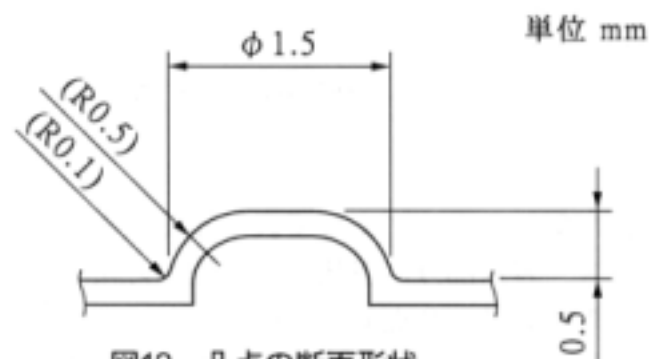
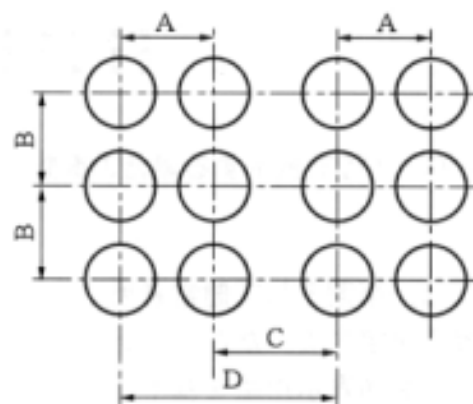


図12 凸点の断面形状

(2) ピッチ： 凸点のピッチは，図13による。



単位 mm

A : 2.10~2.15

B : 2.25~2.30

C : 2.85~3.0

D : 5.1

図13 凸点のピッチ

これからの
デザイナーの役割

ユニバーサルデザインの商品開発条件

デザイナー

人間工学者
心理学者
人類学者

ユーザの気持を分析・判断する

ユーザ自身

ユーザビリティ評価 / 確認

ユーザビリティ活動プロセス

- ユーザビリティ評価室の活用
イントラネット対応

- ユーザ訪問
インタビュー

